

交付運用報告書

ライジング・トルコ株式ファンド

追加型投信／海外／株式

作成対象期間（2016年9月6日～2017年3月3日）

第12期（決算日 2017年3月3日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ライジング・トルコ株式ファンド」は、このたび第12期の決算を行いました。

当ファンドは、トルコ株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して、積極的な運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第12期末（2017年3月3日）	
基準価額	7,255円
純資産総額	2,180百万円
騰落率※	0.4%
期中分配金合計	0円

※騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧方法>

右記URLにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

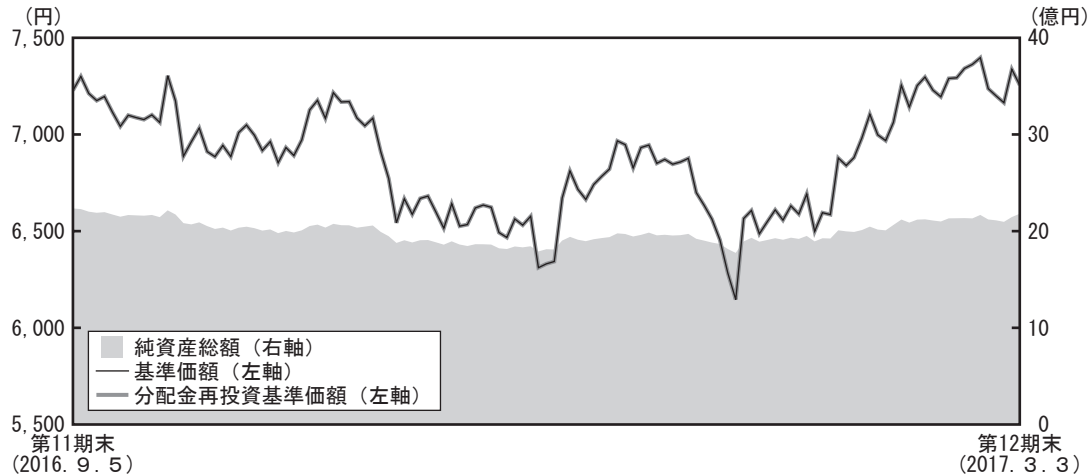
お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

運用経過

■ 基準価額の推移



第12期首：7,228円

第12期末：7,255円（期中分配金合計0円）

騰落率：0.4%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2016年9月5日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

(ライジング・トルコ株式ファンド)

高位に組入れていたマザーファンドの基準価額が上昇したため、当ファンドの基準価額は上昇しました。

(ライジング・トルコ株式マザーファンド)

期中の騰落率は+1.3%となりました。トルコ株式市場が上昇したため、基準価額は上昇しました。

■ 1万口当たりの費用明細

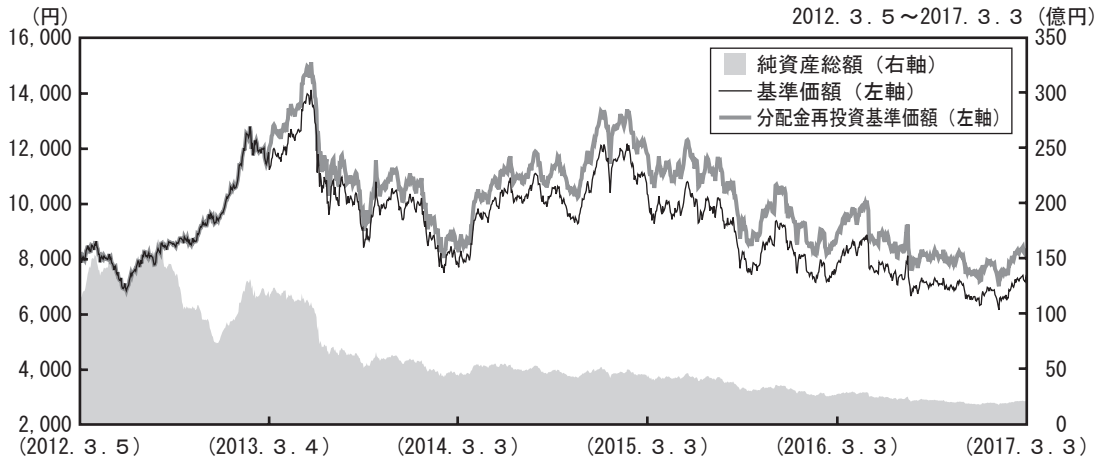
項目	第12期		項目の概要
	(2016年9月6日～2017年3月3日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	65円	0.943%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は6,876円です。
(投信会社)	(36)	(0.519)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(27)	(0.397)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.026)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.023	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.023)	
(投資証券)	(0)	(0.001)	
(c) その他費用	12	0.181	(c) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(12)	(0.177)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	79	1.147	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■最近5年間の基準価額等の推移



- ・分配金再投資基準価額の推移は、2012年3月5日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

決算日		2012年3月5日 決算日	2013年3月4日 決算日	2014年3月3日 決算日	2015年3月3日 決算日	2016年3月3日 決算日	2017年3月3日 決算日
基準価額	(円)	8,239	11,223	7,826	10,344	7,841	7,255
期中分配金合計 (税引前)	(円)	—	800	0	650	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	45.9	△ 30.3	40.6	△ 24.2	△ 7.5
純資産総額	(百万円)	11,800	11,462	4,483	4,278	2,766	2,180

■投資環境

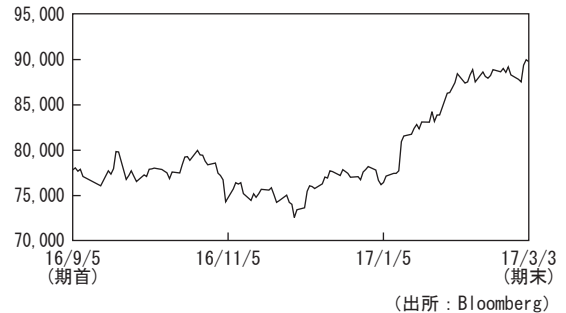
○トルコ株式市場

期初から10月までは堅調に推移しました。11月初めにトルコ警察当局がクルド系国民民主主義党（HDP）の共同党首2人を含む同党の複数の国会議員を拘束したことに加えて、拘束直後に、トルコ南東部で大規模な自爆テロが発生したことなどから、トルコ株式市場は急落しました。12月に入ると、米大統領選挙後の欧米株式市場の好調な推移に追随する形で、上昇に転じました。年明け以降は、トルコ中央銀行が1週間物のレポ入札を見送り、その後利上げを行ったこと、1月の米国の雇用統計において賃金の伸びが鈍化したことなどを受け、米国の長期金利が低下しドルが売られたこともあり、トルコリラが反発したことなどから、トルコ株式市場は大きく上昇しました。

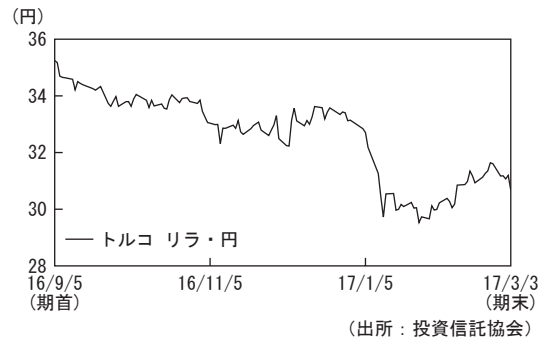
○為替市場

トルコリラは、1月上旬に「イスラム国」によるテロの発生や、事前予想を大きく上回る2016年12月の消費者物価指数の発表などを受けて大きく下落しましたが、トルコ中央銀行のトルコリラ防衛策の実施などを受けて、1月下旬頃から期末にかけては反発しました。

イスタンブール・ナショナル100種指数の推移



為替レートの推移



■当該投資信託のポートフォリオ

期を通してライジング・トルコ株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率（対純資産総額比）は、94.5%です。

（ライジング・トルコ株式マザーファンド）

期を通して株式および外国投資証券の組入比率を概ね高位に維持し、期末の組入比率は99.0%となりました。

・主な購入銘柄

アクリル繊維メーカーのAksa Akriklik Kimya Sanayii ASや、液化プロパンガス販売会社のAygaz A.S.等を新規に購入しました。

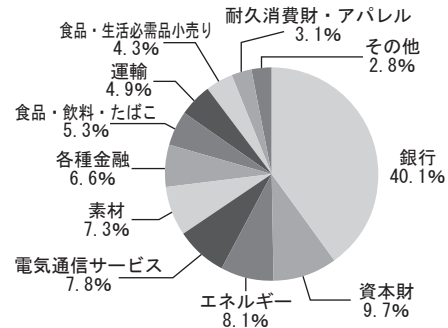
・主な売却銘柄

農業関連のHektas Ticaret T.A.S.等を全売却しました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、トルコ株式を主要投資対象とします。株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

ライジング・トルコ株式マザーファンドの業種別構成比率



(注1) 比率は、第12期末における外国株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

(注2) 端数処理の関係上、構成比合計が100%にならない場合があります。

■分配金

基準価額の水準等を勘案し、当期は分配を行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

<分配原資の内訳>

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第12期
	2016年9月6日～2017年3月3日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,091

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

(ライジング・トルコ株式ファンド)

今後もマザーファンド受益証券の組入水準を高位に維持することで、信託財産の成長を目指して、積極的な運用を行います。

(ライジング・トルコ株式マザーファンド)

トルコでは、4月16日に大統領に行政の権限を集中させる憲法改正の是非を問う国民投票が実施される予定です。改正案への賛成・反対は拮抗しており、投票日まで接戦が続くものと想定されています。一方、トルコ中央銀行は、引き続き後期流動性窓口貸出金利を活用し、金融市場での資金供給を制限するなど、トルコリラ防衛に向けて様々な政策を動員しています。

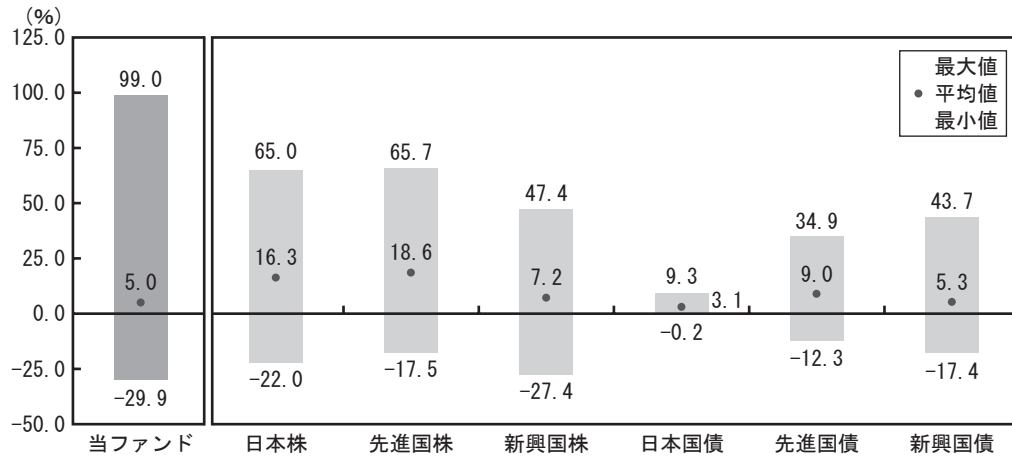
中期的な視点においては、トルコ経済の高い成長モメンタムへの期待から、トルコ株式市場は引き続き魅力的な投資対象であると考えています。

■当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2011年4月1日から2021年3月3日まで	
運用方針	信託財産の成長を目指して、積極的な運用を行います。	
主要投資対象	ライジング・トルコ株式ファンド	ライジング・トルコ株式マザーファンド受益証券
	ライジング・トルコ株式マザーファンド	トルコ株式（DR（預託証券）を含みます。）
運用方法	<p>①トルコの株式に投資し、信託財産の成長を目指します。</p> <p>②トルコ株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して銘柄選別を行います。マザーファンドのトルコ株式の運用は、ユニオンバンケールプリヴェユービーピーエスエー（ロンドン支店）が行います。</p>	
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

※当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



期間：当ファンド 2012年4月～2017年2月
 代表的な資産クラス 2012年3月～2017年2月

* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

- 日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI国債
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。
 ※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

- ・当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

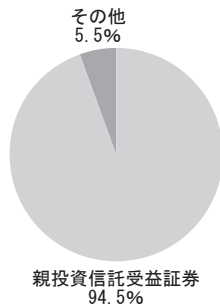
※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

○組入ファンド

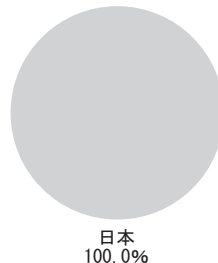
	第12期末
	2017年3月3日
ライジング・トルコ株式マザーファンド	94.5%

（注）比率は第12期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は第12期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

項目	第12期末
	2017年3月3日
純資産総額	2,180,004,162円
受益権総口数	3,004,954,843口
1万口当たり基準価額	7,255円

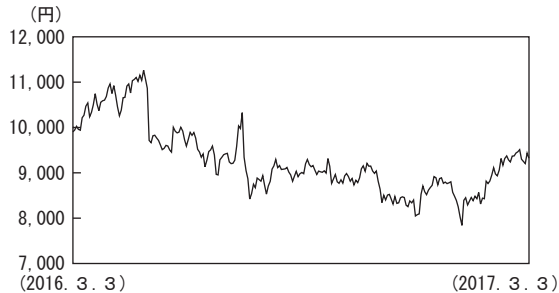
※当期中における追加設定元本額は469,088,648円、同解約元本額は556,036,961円です。

■組入上位ファンドの概要

※組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<ライジング・トルコ株式マザーファンド>

○基準価額の推移



○組入上位10銘柄

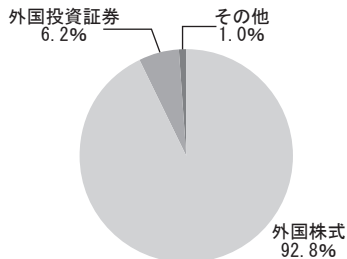
	銘柄名	業種	比率
1	TURKIYE GARANTI BANKASI	銀行	10.7%
2	AKBANK T. A. S.	銀行	10.3%
3	TUPRAS-TURKIYE PETROL RAFINE	エネルギー	7.5%
4	HACI OMER SABANCI HOLDING	各種金融	6.1%
5	KOC HOLDING AS	資本財	5.3%
6	TURKCELL TLETISIM HIZMET AS	電気通信サービス	5.0%
7	TURKIYE IS BANKASI-C	銀行	4.9%
8	EREGLI DEMIR VE CELIK FABRIK	素材	4.6%
9	EMLAK KONUT GAYRIMENKUL YATI	住宅用REIT	4.6%
10	TURKIYE HALK BANKASI	銀行	4.4%
組入銘柄数		33銘柄	

○1万口当たりの費用明細

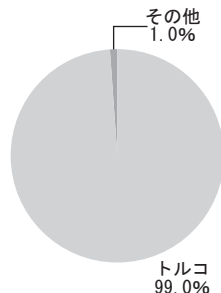
(2016年3月4日～2017年3月3日)

項目	
売買委託手数料	3円
(株式)	(3)
(投資証券)	(0)
その他費用	33
(保管費用)	(33)
(その他)	(0)
合計	37

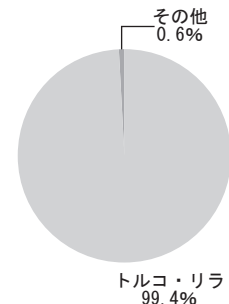
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2017年3月3日）現在のものです。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■ 指数に関して

○ 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI 国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

J.P. Morgan GB I-EM グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。